

“非日常”の楽しみを提供

社会福祉法人青嵐会が運営する「夢うさぎ」は、特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスが一体となった施設です。ここで働く高橋さんは、介護福祉士になって24年目。2014年の施設開設準備時から通所介護主任を務め、後輩の指導役を担っています。

デイサービスの利用者は1日当たり15〜20人。介護福祉士、看護師、生活相談員の計6人でケアに当たります。高橋さんは「サービスを利用されるご本人はもちろん、ご家族さまにも満足していただけるよう、丁寧なケアをいつも心掛けています」と話します。

デイサービスは、要支援や要介護認定を受けた人が自宅での生活を継続するために、機能訓練をしたり、周りの人と交流したりする場です。利用する曜日ごとに利用者が入れ替わるため、きめ細かいケアを行う

には、スタッフが利用者の心身状態を把握することが欠かせません。スタッフ間の情報共有はとても大切ですが、共有の仕方にも注意を要します。「ご利用者さまの個人情報には最大限の配慮をします。また、スタッフ同士が頻繁に打ち合わせや事務連絡をしていると、忙しいと思われて気を遣わせてしまいます。ご利用者さまには一日ゆったりと過ごしていただきたいので、ご利用時間内のミーティングは最小限にとどめるなど情報共有の工夫をしています」と高橋さん。

「ご利用者さまに生活の場を提供する特養やショートステイとは異なり、デイサービスの利用者さまは『非日常』の楽しみを求めて施設に訪れます」と説明します。食事や入浴を楽しみにしている人もいれば、コミュニケーションや体操を心待ちにしている人もいます。高橋さんは「デイサービスを介護サービス利用の入り口として夢うさぎにな



通所介護主任
 あゆみ
高橋 歩さん
 (44)
 通所介護
夢うさぎ
 〈由利本荘市〉

楽しんでいただき、介護度合いに応じてショートステイや特養の利用に移行される方も多くいます。ご利用者さまから『夢うさぎはとても楽しくて、一日があつという間に過ぎる』
 『次の利用日が待ち遠しい』と言われるのが一番うれしいです』と笑顔で話していました。

高橋さんのある日の業務

- 8:20 勤務開始、ミーティング
- 8:30 利用者を自宅まで迎えに行く
- 9:30 入浴後の水分補給の介助、趣味活動(折り紙など)のサポート
- 正午 休憩
- 13:00 連絡帳とカルテの記入
- 13:30 半日利用の人たちを自宅に送る
- 14:30 体操や散歩の介助
- 15:30 レクリエーションのサポート
- 16:20 利用者の帰宅準備を手伝う
- 16:30 利用者の送迎
- 17:00 カルテの記入、後片付け、翌日の準備
- 17:20 勤務終了、帰宅